

# みんなの大和NEWS

<発行部数14500部>

発行／中野区大和区民活動センター運営委員会  
編集／みんなの大和NEWS編集委員会  
住所／〒165-0034 中野区大和町2-44-6

TEL／03-3339-6125 FAX／03-3339-6126  
Email／nakano\_yamato@coast.ocn.ne.jp  
HP／http://www.nakano-yamato.gr.jp/



サザンカの垣根(大和町4丁目)

写真提供／多田全宏氏

## 大和町を守る!「野方消防団第五分団」

5名の団員さんを選出していただき、Q&Aで各自の経験をご披露していただきました。

- |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| ● 板谷 | ● 日丸 | ● 宮本 | ● 村松 | ● 板谷 | ● 日丸 | ● 宮本 | ● 村松 | ● 板谷 | ● 村松 | ● 板谷 | ● 宮本 | ● 村松 |
| ● 板谷 | ● 日丸 | ● 宮本 | ● 村松 | ● 板谷 | ● 日丸 | ● 宮本 | ● 村松 | ● 板谷 | ● 村松 | ● 板谷 | ● 村松 | ● 村松 |
- (Q) 入団のきっかけは?
- 学生の頃、消防団に勧誘された同級生が、私のことも紹介してくれて入団しました。
- 東光自動車の秋山さんに誘われて、入団しました。
- 救命講習に参加し、普及活動をしたいと思いました。中野区防災リーダーでもあり、勉強したこと活かしたいと思い、入団しました。
- 消防団への推薦があり、入団しました。
- (Q) 実際に災害活動を行った感想は?
- 火災現場に出動し、消防署や警察と連携しての活動なので緊張しました。現場での、第三者の自分勝手な発言や行動に驚きました。
- 今まで頭で考えていた事が、実体験をして、より災害を身近に感じました。
- 東日本大震災・台風・火事現場を経験しました。
- 団歴が浅いため、主だった災害活動に参加していません。
- 今のところ災害活動はありません。
- (Q) ご自分の本業と、分団の業務の兼ね合いは?
- あくまで昼の仕事が優先ですが、休日や夜の空いた時間でできる活動には、積極的に参加するようになっています。
- 本業は早い時間帯の仕事なので、夜の活動には出来るだけ出席するようにしています。
- 分団の業務は週末が多いので、両立できます。
- 分団の業務は、仕事が終わってから参加し、土・日・祝日にうまく活動があれば、優先して参加しています。
- 本業の会社は理解があり、救命講習の依頼がある時は、有休を取つて行くようにしています。
- 分団長からは「学業優先でよい」と言われているので、兼ね合いは取れていると思います。



野方消防団第五分団本部

“絆”が自慢の第五分団です！

野方消防団第五分団長 鈴木教悦



妙正寺川沿い川北橋のたもとに本部を構え、現在は15名の団員で構成されています。団員は特別職（非常勤）の公務員で、仕事を持しながら災害時の消火活動、救急・救助活動や、平時の防火・防災訓練に従事しています。

消防団の報酬は、活動の労苦に対応して年2回(3・9月)に分けて支払われ、災害や警戒・ボンブ点検(月1度)などで出動した場合には、手当が支給されます。さらに5年以上勤務し、退団した場合には、退職報奨金も支給されます。また、活動服や活動靴は貸与され、活動中に負傷した場合には、補償制度があります。

● 報酬・補償などの制度があります。

第五分団では、上級救命資格講習を受講していく、団員の中には普及員指導資格を取得し、学校や町会などで、指導員として活躍している人もいます。

● 資格が取れることも強みです。



大和地区合同防災訓練での指導



●大和区民活動センター運営委員会のホームページ用二次元コードです。

次号「みんなの大和ニュース」は、2021年1月発行予定です。

第四中学校と第八中学校の統合校名は  
**「明和中学校」に決まりました。**

「明和中学校」は、令和3年4月に現第四中学校での開校を目指して、校章や校歌を決める作業を進めています。旧美鳩小学校跡地への移転は、令和7年以降の予定です。

## 海外旅行の

### フォトブック作りが、宝の時間。

私の旅行歴は24才の時、一ヶ月間のヨーロッパ一周に始まり、記憶の限り73回。アルバムは増加の一途。そこで、ペルー旅行からはフォトブックに切り替え、最新版のカリブ海ツアーで27冊。楽しい思い出と一緒に、疲れを背負っての帰国。沢山の写真の中から、フォトブックに入れるこの一枚を、時差ぼけと闘いながら、何時間もかけて選び出す作業は格別に豊かで、楽しい時間なのです。思い出が蘇る一言を書き込み、関連資料を加えて完成した一冊一冊は、私の宝物です。ある時、機内で声をかけられました。アフリカ旅行で一緒だった小野ご夫妻、私の事を覚えていてくださったのです。まさに奇遇、帰国後の再会を約束して以来のご縁です。宝物を持ち寄って、ご夫妻と時間を忘れて、旅の思い出を語り合い、旅の情報交換をする歓談のひと時は、何事にも替え難い至福の時なのです。



小野ご夫妻と、キューバのトリニダーにて

## コラム「私のお楽しみ」③

目崎貴美子さん  
(大和町在住)

\*皆さんの「お楽しみ」をお待ちしています。  
連絡は事務局まで。

**お待たせしました!** 中野大和町郵便局は11月24日(火)から、同じ場所で営業を再開します。

## 令和2年(2020年)度の 「みんなの大和ニュース」編集委員を紹介します。

14名の編集委員が、皆さんに愛される地域ニュースを目指してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

・涌井久美子(編集部員)・関鉄一郎(編集部員)・波多江史子(美鳩小PTA)・池田一恵(美鳩小PTA/地域委員会)・政木綾子(美鳩小PTA/地域委員会)・飯田智臣(啓明小PTA)・各和貴幸(啓明小PTA)・丸山郁美(四中PTA)・吉岡菜子(四中PTA)・伊藤和也(広報部長)・勝岡鉄一(広報副部長)・奈良吉朗(広報部員)・深澤幸宏(事務局長)・伊藤直子(事務局員)

移転する予定。 今后、道路幅に伴って、ぜひお声掛けください。 何時でも歓迎します。



本部公開イベント



ポンプ点検作業



## ご報告します。

コロナ感染はまだ安心できませんが、少しずつ子供たちのイベントが再開されそうです。この欄も賑やかになると嬉しいな！

## 離れていても心を一つに「啓明スポーツフェスティバル」

当初は9月26日(土)の一日のみでの開催予定でしたが、雨のために1年・2年・6年は28日(月)に振り替えて行う形となりました。啓明小オリジナルのアップテンポな啓明ダンスや、短距離走・全員リレーの3つを一生懸命に児童は楽しんでいました。コロナ禍でイベントが少ない中、子供たちにとって大変良い思い出となりました。運営していただいた先生方に感謝します。(I)



## YAMATO GALLERY 大和ギャラリー

### ■当センター1階ホール

- 11月14日(土)まで 「<第10回>大和友愛会写真展」
- 11月16日(月)~12月5日(土) 「<第7回>伊望会書画展」
- 12月7日(月)~25日(金) 「クリスマスがいっぱい！」
- 1月4日(月)~30日(土) 「新春の飾り展」

### 60歳以上の方に マッサージ 三療サービス

- 日時／毎月第3木曜日 09:30～  
(当日09:00から電話受付)  
先着14名様に限らせていただきます。
- 費用／900円(45分)  
\*感染防止のためのルールを、予約の際にご確認ください。守れないと施術が受けられないこともあります。

### 年末～1月の恒例イベント情報

- 「大和クリスマスコンサート」中止
- 「妙正寺川マラソン大会」中止
- 「八幡神社甘酒提供」未定  
開催・中止の決定は、12月初旬の会議で決めることになっています。
- 「クリスマス会／中町会」中止
- 「お汁粉・焼きそば大会／中町会」中止

## くまちなかサロン>傾聴サロンやまと10月1日オープンしました！

“心に寄り添う”がモットーの傾聴ボランティアと、楽しくおしゃべりをしませんか。

- 開催日／毎月第1木曜日(予約不要・祝日休み)
- 時間／13:30～15:30
- 会場／当センター2階洋室2・3号室
- 参加費／200円(ドリンク・茶菓子)

お待ちしていま～す！



大和町を災害から守る、力強い分団長！  
**大和のマイ★スター48**

鈴木教悦さん  
(大和町在住)

消防団つて  
カッコイイよね！



平成10年に野方消防団第五分団に入団し、工務店を営みながら20年間活動を続けている分団長の鈴木教悦さんにお話を伺いました。私が入団したきっかけは、本業の工務店と団員を兼ねていた父が体調を崩し、私が父の代わりに退団願いを出しに行った時、当時の分団長から「のりちゃん、入団しなよ」と言われて、何の抵抗もなく入団しました。月一度のポンプ点検・パトロール活動など、当初の活動にはなかなか出席できず、周りの方々に迷惑をかけたと思いつます。少しづつ活動に顔を出すようになると、活動終了後に地元で一杯ということもたまにあります。一人一人の仕事のこと、町会のこと・恋愛・失敗談等々を通して、打ち解けられるようになります。生業を兼ねて、消防団活動に参加すること、それに対する意義や責任感が、少しづつ分かつてきました。大和町を災害から守る」と言う気持ちを持つ団員同士の絆は強く、プライベートでもとても仲が良いです。